

# 財團法人電子科学研究所寄附行為

## 第一章 総則

第一條 本法人ハ財團法人電子科学研究所ト稱ス

第二條 本法人ハ事務所ヲ大阪市中央区北久宝寺町二丁目三番六号ニ置ク

## 第二章 目的及事業

第三條 本法人ハ電子ニ關スル理學及ビ工學ニ就キ基礎的研究ヲナスト共ニソノ研究成果ノ産業化ヲ圖リ以テ世界文化ノ向上ニ資スルヲ目的トス

第四條 本法人ハ前條ノ目的ヲ達スル為左ノ事業ヲ行フ

- 一、研究ノ振興
- 二、研究成果ノ産業化研究
- 三、研究ノ委嘱及ビ研究ノ受託
- 四、研究者、技術員ノ養成、再教育
- 五、中小工業者ノ學術的及ビ技術的指導
- 六、其ノ他本法人ノ目的達成上必要ト認ムル事項

## 第三章 資産及會計

第五條 本法人ノ資産ハ左記各號ヨリナル

- 一、本法人設立當時設立者ノ出資ニ係ル別紙財産目録記載ノ財産
- 二、資産ヨリ生ズル果實及ビ事業収入
- 三、寄附金及ビ補助金
- 四、贊助會費
- 五、其ノ他ノ雜収入

第六條 前條第一號ノ財産目録記載ノ財産中基本財産タルコトヲ指定セラレタル財産及理事會ノ決議ヲ經テ繰入レタル財産ヲ以テ本法人ノ基本財産トス

前項以外ノ財産ヲ以テ通常財産トス  
基本財産ノ元本ハコレヲ處分スルコトヲ得ズ 但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ハ理事會ノ決議ヲ經、且主務官庁ノ認可ヲ得テコレヲ處分スルコトヲ得

第七條 本法人ノ資産ハ別ニ定ムル規定ニ據リ理事長之ヲ管理ス

資産中基本財産タル現金若クハ有価証券ノ管理ハ金錢信託郵便官署若クハ確實ナル銀行ノ定期預金ト為ス

第八條 本法人ノ經費ハ通常財産ヲ以テ之ニ充テ年度末剩餘金ヲ生セシ時ハ理事會ノ決議ヲ經テ其ノ全部若クハ一部ヲ基本財産ニ編入シ又ハ次

年度ニ繰越ス

第九條 本法人ノ豫算ハ毎年度開始前ニ理事會ノ議ヲ經テ定メ決算ハ年度終了後三ヶ月以内ニ調整シ監事ノ意見ヲ付シ理事會ノ承認ヲ受クルモノトス

第十條 収支豫算書ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負担又ハ權利ノ拋棄ヲ為シ若クハ豫算内ノ支出ヲ為ス為其ノ會計年度内ノ収入ヲ以テ償還スル一時借入金以外ノ借入金ヲ為スニハ理事會ノ決議ヲ經テ且主務官庁ノ承認ヲ得ベキモノトス

第十一條 本法人ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ三月卅一日ニ終ル

#### 第四章 役員及職員

第十二條 本法人ニ左記役員ヲ置ク

一、理事 八名以上十五名以内

(ウチ 理事長 一名 専務理事一名 常務理事一名)

二、監事 三名以内

三、評議員 十名以上二十名以内

第十三條 理事長、専務理事及常務理事ハ理事ノ互選ヲ以テ定ム

理事長ハ本法人ヲ代表シ所務ヲ総理シ及會議ノ議長トナル

理事長事故アル時ハ理事會ニ於テ豫メ定メタル順序ニ依リ他ノ理事其ノ職務ヲ代理ス

理事ハ理事長ヲ佐ケ本法人ノ重要ナル業務ニ參画ス

第十四條 理事及ビ監事ハ評議員ノ決議ニ基キ理事長之ヲ委嘱ス理事ハ監事ヲ兼ネルコトヲ得ズ、評議員ハ理事會ノ決議ニ基キ理事長之ヲ委嘱ス

第十五條 監事ハ本法人ノ會計ヲ監査シ、評議員ハ理事會ノ諮問ニ応ズルモノトス

第十六條 本法人役員ニシテ其ノ義務ニ違反シ又ハ体面ヲ汚辱スル行為アリタル時ハ理事會及評議員會各四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ之ヲ退任セシムルコトヲ得

第十七條 役員ノ任期ハ二ケ年トス、但シ再選ヲ妨ゲズ

補欠役員ノ任期ハ前任者ノ残任期間トス

第十八條 役員ハ任期滿了スルモ後任者就任迄仍才其ノ職務ヲ行フモノトス  
本法人ハ研究所長其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得、職員ハ理事長コレヲ任免ス、職員ニハ俸給ヲ支給スルコトヲ得

#### 第五章 會議

第十九條 理事會ハ理事長コレヲ召集ス

第二十條

理事會ハ理事総数ノ半数以上出席スルニアラザレバ開會スルコトヲ得ズ 理事會ノ議事ハ出席理事ノ半数以上ノ同意ヲ以テ決ス 可否同数ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル  
理事會ニ出席シ得ザル理事ハ書面ヲ以テ他ノ理事ニ委任シテ表決ヲナスコトヲ得、此ノ場合豫メ通知セシ事項ニ關シテハ之ヲ出席者ト看做ス

第十九條及第二十條ノ規定ハ評議員會ニモコレヲ準用ス

第二十一條

評議員會ニ附議スベキ事項左ノ故シ

一、豫算及決算ニ關スル事項

二、資産ノ管理及處分ニ關スル事項

三、債權、債務ニ關スル事項

四、寄附行為其ノ他諸規則ノ制定改廃ニ關スル事項

第二十二條

凡テ會議ニハ議事録ヲ作製シ議長及出席者代表二名署名捺印ノ上コレヲ保存スルモノトス

第六章 贊助會員

第二十三條

本法人ハ贊助會員ヲ置クコトヲ得  
贊助會員ハ本法人ノ目的ニ賛同シ、且贊助會費ヲ納入スル者トス  
贊助會員贊助會費ハ理事會ノ決議ヲ經テ理事長之ヲ定ム

第七章 附則

第二十四條

本寄附行為施行ニ關スル細則ハ理事會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第二十五條

本寄附行為ハ理事會及評議員會各四分ノ三以上ノ同意ヲ經テ且主務官庁ノ認可ヲ經ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第二十六條

本法人ハ理事會及評議員會各四分ノ三以上ノ同意ヲ經、且主務官庁ノ許可ヲ經ザレバ解散スルコトヲ得ズ

第二十七條

本法人解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ハ理事會ノ議ヲ經、且主務官庁ノ許可ヲ得テ公益事業ニ寄附スルモノトス

第二十八條

本法人設立當初ノ理事、監事左ノ如シ

理 事 長	吉 原 政 義
專 務 理 事	林 龍 雄
理 事	池 田 政 三
監 事	清 瀧 幸 次 郎

昭和二十一年十二月十六日 制定許可

昭和五十八年一月二十日 一部改正許可

昭和五十七年八月十二日 一部改正許可

昭和五十九年一月十四日 一部改正許可

平成元年二月十三日 住居表示実施

平成二年五月一日 一部改正許可

平成九年十二月四日 一部改正許可

平成十一年七月九日 一部改正許可